



ふじさわ体協

発行・編集 藤沢市体育協会

〒251-0026 藤沢市鶴沼東8-2

秩父宮記念体育館内

URL <http://www.fujisawa-taikyo.org/>



第68回 藤沢市民総合体育大会 開会式

68回の伝統と歴史ある地区対抗競技は、現在まで、7種目競技が行われてきました。その地区対抗競技形式の大会は、今年度をもって終了になります。そして、全種目がオープン競技に

なります。

藤沢市体育協会 会長

小野 隆 弘

藤沢市民総合体育大会 全種目オープン競技に

平成23年10月に藤沢市民総合体育大会見直し検討委員会の設置を機会に、抜本的な見直しをする方向で協議、検討に入りました。それから一年間をかけ、じっくり話し合いをしました。

メンバーは、体育協会から8名、地区社会体育振興協議会連合会から5名、スポーツ推進委員協議会から5名からなる構成です。

検討内容については、本市の現状と課題について洗い出しをし、市民総合体育大会についてのアンケート調査を実施しました。合わせて、他市の市民総合体育大会の現状についても調査・研究を行いました。

その結果、地区対抗競技での参加地区数の減少傾向が強く、地区社体協の人的負担が極めて大きくなり、他地区(市)からの不正出場などが明

らかになりました。さらに、競技志向よりもスポーツを楽しむレクリエーション志向が明らかになってきました。また、老若男女を問わず誰でも気軽に参加できる種目としてニュースポーツを導入した大会を、強く期待した結果が出ました。そこで市への提言を、次の2点としました。

* 7種目を含め、全種目をオープン競技とし「藤沢市民総合体育大会」の名称は残し、大会を実施する。

* 藤沢市スポーツ推進委員協議会の協力のもと、ニュースポーツを取り入れた大会を企画し、老若男女問わず気軽に参加できる大会を開催する。

平成25年5月から市民ニーズにこたえ、(仮称)藤沢市民スポーツ大会準備委員会を立ち上げ「本市の生涯スポーツ推進を目的として、スポーツを通じて健康な心身育成と市民相互の親睦を図るためにスポーツの祭典として開催する」を目的に検討をすすめました。正式名称を「スポーツまつりふじさわ2014」とし、秋葉台文化体育館で2競技と秩父宮記念体育館でニュースポーツの5種目を実施する方向で大筋の内容を協議・検討しました。健康な心身の育成と市民相互の親睦を図ることを目的として、実行委員会を立ち上げ大会の開催に向け、協議・決定を検討する段階に至っています。

第68回 藤沢市民総合体育大会

—地区対抗競技—

■総合成績

順位	地区名	得点目
優勝	大鋸地区	177.0
準優勝	遠藤地区	160.5
第3位	駒寄地区	146.5
第4位	明治地区	144.0
第5位	湘南台地区	139.5
第6位	滝の沢地区	139.0
第6位	鶴洋地区	139.0
第6位	辻堂地区	139.0

■種目別優勝

種目	地区名
軟式野球	善行
ソフトテニス	雨天中止
バレーボール(男子)	遠藤
バレーボール(女子)	羽鳥
卓球	中里
バドミントン	本町
ソフトボール	駒寄
硬式テニス	片瀬

市総体オープン競技

種目	実施日	参加人数・他
陸上	8/3~8/4	1,242名・32チーム
バスケットボール	6/16~7/7	350名
水泳	7/7	157名
剣道	8/18	588名
射撃	7/28	26名
サッカー	8/18~10/6	
山岳	10/5~10/6	30名
柔道	11/17	250名
スキー	1/25	80名予定
空手道	10/20	321名
弓道	7/14	86名
ラグビー	6/30~9/22	1899名・26チーム

種目	実施日	参加人数・他
ハンドボール	12/7~12/22	
体操	8/3~8/4	270名・28チーム
ゲートボール	9/29	142名・26チーム
ヨット	8/4	97名・55チーム
ゴルフ	8/26	117名
ボウリング	6/2	31名
太極拳	11/3	155名・17チーム
グラウンドゴルフ	11/21	241名
アーチェリー	10/13	16名
バウンドテニス	11/17	24地区
ダンススポーツ	11/23~11/24	320組・700人
カヌー	11/10	18名

大鋸地区は、昭和55年大鋸小学校開校とともに設立し、以来34年目、奇しくも市民総体最終年度に総合優勝の快挙を成し遂げました。

開設当時は地区内に市内企業の社宅や独身寮があり、競技によっては好成績を収めることも多々ありましたが、近年ではご多分漏れず企業の撤退、戸建て住宅が主体の地区特性もあって住民の高齢化などにより出場選手集めも厳しいものがあり、上位への進出が叶わない状況でした。

当地区ではスポーツ推進法の主旨を踏まえ、地域住民の健康増進に向け、日常の体育館開放を最大限活用し広くスポーツ振興を図るとともに、市民総合体育大会の各種競技への参加機会を逸さないように全競技への参加に継続して努めてまいりました。



健闘する女子バレー

手の年齢層が高く、優勝種目は1競技もありませんでしたが、これまでの地道な活動と各競技参加選手の日頃の鍛錬の成果が、総合優勝に繋がったと考えています。

今年度、第68回大会をもって、従来の市民総合体育大会は幕を閉じます。市民がスポーツに親しむ機会の提供を通しての健康増進は継続して行く必要があり、藤沢市と藤沢市体育協会には参加しやすい新たな企画を期待するとともに、当地区も社会体育の振興に寄与する所存であります。



総合優勝 大鋸地区役員・選手の皆さん

「第68回藤沢市民総合体育大会」

総合優勝

大鋸地区社会体育振興協議会

会長 西尾克彦

全国中学生ビーチバレー大会

明治2号(明治中学校)

2連覇

第4回湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会が8月17日(土)〜18日(日)藤沢市鵜沼海岸常設ビーチバレーコートで開催され、明治2号(明治中学校)が女子の部で優勝し2連覇を成し遂げました。大会は、全国から男子24チーム・女子30チームが参加し、2日間に渡りビーチバレー発祥の地で猛暑の中、熱戦が展開されました。



大会2連覇を果たした明治2号(明治中学校)監督・選手の皆さん

明治2号は予選グループ戦で、松倉クラブB(岐阜県高山市)を25-5で、ヨツシイズ(茨城県銚田市)を25-5と圧倒的な強さで下し、2日目の決勝トーナメント戦に進出しました。決勝トーナメント2回戦では、大浜中学校(静岡県掛川市)を25-17で、準決勝では、北大阪朝鮮(大阪府大阪市)を25-11で下し、決勝戦に臨みました。決勝戦の相手は強豪、愛知淑徳中学校A(愛知県名古屋市中区)で一進一退の攻防の末、25-20で下し、2連覇を達成しました。

優勝した明治2号は、夏休みに入ると早朝の6時からビーチに集合して練習したと、関係者から話を聞き、「練習はうそをつかない」地の利を生かした勝利だと確信しました。

そしてエースが2年生だと聞き3連覇も期待されます。

大会には、年々参加チームが増えレベルが向上し、男子は期待された藤沢クラブが1回戦で敗れる番狂わせがあり、大和ユウ(広島県広島市)が優勝しました。

今後、大会参加者の中から更なる飛躍が期待されるオリンピック選手が誕生するのを夢に、準備・運営に全力を注ぐ所存です。

(荒井)

藤沢市のカヌーについて

藤沢市カヌー協会

理事長 有村 智之

当協会は2008年に発足し、これまで「ユニバーサルカヌー体験会」の支援を中心とした普及と、競技カヌーの選手育成の環境づくりを2本柱として活動してきました。

「ユニバーサルカヌー体験会(共催)(公財)神奈川県公園協会、(社)かながわデザイン機構、協力II藤沢市カヌー協会」は毎年5〜6月と9〜10月の週末に開催され、当協会ではパドリングを中心とした乗艇指導の協力をしています。参加者も年々増え、最近では年間でのべ2千人を超えるまでになりました。



国体でのレースの様子

競技カヌーの選手育成環境づくりでは、当協会の団体会員である湘南カヌースポーツクラブの支援を中心に活動しています。競技カヌーは日本では知名度が低いですが、世界的には欧州を中心に広く

普及しています。五輪では1936年のベルリン大会から正式種目となり、静水で直線スピードを競う「カヌースプリント」と、急流に設けられた旗門をクリアする「スラローム」の二種目が行われています。

藤沢市では「カヌースプリント」でジュニア世代の選手が活躍しています。国体や日本選手権、全国大会のほか、世界大会にも度々藤沢市から選手が選出されています。今年、カナダで行われた世界ジュニア選手権に3名の高校生が日本代表として出場しました。10月の東京国体には4名の高校生が神奈川県代表として出場し4種目で入賞。日本ジュニア選手権でも4名の高校生が出場し5種目で入賞、内1種目は優勝でした。小・中学生も頑張っていて、中学生の全国大会では1年女子の部で3位。小学生の全国大会では4年生以下の部で3位と6位、5年生以上ペアで7位の成績でした。

2020年の東京オリンピック開催は、ジュニア世代の選手たちにとって大きな動機づけになっているようです。彼らの成長を楽しみに、当協会としても出来る限りの支援と普及活動に力を入れていきたいと考えています。

藤沢市サッカー協会
創立60周年記念式典・懇親会



山口幸雄サッカー協会会長

藤沢市サッカー協会は、10月に創立60周年を迎えることができました。60周年を記念し藤沢市民会館第二展示ホールで記念式典、懇親会を開催しました。記念式典には、藤沢市長、議長、教育長をはじめ、市体育協会、県サッカー協会、松本市サッカー協会など多数のご来賓と種目別協会や県内サッカー協会の代表者、及び市サッカー協会加盟チームの代表者の方々のご出席をいただき、和やかで賑やかな記念式典、懇親会を開催することができました。誠にありがとうございました。

記念式典では、山口会長より、昭和28年10月の創立以来、皆様方のご理解とご協力、学校施設利用や秋葉台球技場をはじめとする施設整備にご尽力いただいた関係機関に深く感謝とお礼を申し上げます。また、60周年を機に「世

代をこえて、地域スポーツのさらなる広がりを」をコンセプトに、各委員会で大会の充実と競技力向上とモラルの向上、女子サッカーへの対応に一層努めていきますと、新たなスタートに向けて力強いあいさつがありました。

ご来賓の皆様からは、高橋市議会議長 井田体育協会副会長より、協会60周年へのご祝辞をいただきました。感謝状贈呈では、長年J.C杯小中学生サッカー大会を開催していただいている藤沢青年会議所様、審判活動にご尽力いただいている徳重政志様、杉山正明様に感謝状を贈呈し謝意を表しました。また、第22回県高校女子サッカー選手権大会で見事優勝した藤沢清流高校女子サッカー部に関東大会での健闘を祈って記念品を贈呈するとともに、チームの主力に決意を述べていただきました。全日本高校女子サッカー大会への出場を祈っています。

懇親会では、県サッカー協会宇野野長の音頭で乾杯の後、鈴木市長、吉田教育長をはじめ松本市サッカー協会会長、J.C理事長など多数の方々からお祝いの言葉を頂いた後、懇談に移りました。各テークブルでは、サッカーの話に花が咲き、いつまでも尽きない様子でした。終わりに、木村副会長より記念式典が無事終了したことへの感謝と今後ともご指導ご協力をお願いを申し上げます。 (木村)

藤沢清流高校女子サッカー部
全日本高校女子サッカー大会
出場目指して関東大会へ

藤沢清流高校女子サッカー部(渋谷俊和監督)が、9月29日に行われた第22回神奈川県高校女子サッカー大会最終順位決定戦で、宿敵湘南学院を一对一後のPK戦を4対2で制し、見事優勝しました。この優勝により神奈川県第一代表として、11月2日から開催する関東大会に出場することが決定しました。関東大会は全日本高校女子サッカー大会出場を決める大会です。藤沢市サッカー協会60周年記念式典に出席した渋谷監督、主将、副主将の3名から全日本出場への心強い決意が述べられました。藤沢清流高校の活躍は藤沢女子サッカーの大きな起爆剤になりますので、中央大会の出場を祈っています。皆さん、応援をお願いします。(木村)



藤沢清流高校女子サッカー部
監督・主将・副主将の皆さん

編集後記

1年が経つのは早いもので平成25年も師走となりました。今年は秋季が短く冬の訪れが早く感じられます。我が国のスポーツ界のこの1年を振り返ると多くの話題があり、プロ野球では楽天が球団創設9年目で日本一輝きました。このことは、2年前の大震災で被災した東北地方の人々に勇気と感動を与えました。改めて「スポーツの力」の素晴らしさを感じました。6月にはサッカー「全日本」が2014年開催のW杯ブラジル大会に出場を決めました。これで5大会連続出場です。そして、9月には2020年の夏季オリンピック、パラリンピックの東京開催が決定しました。東京開催は前回1964年以来56年ぶりの開催です。この決定で青少年が夢と目標ができたのではないのでしょうか。是非、藤沢市出身のオリンピック選手が選出されるよう藤沢市体協も選手育成、強化に繋がる施策を7年後に向け知恵を出し合い、多くの選手が輩出するよう期待するとこです。(木村・高科)

第29回 スポーツ人の集い

日時 平成26年2月23日(日) 午後1時～
会場 藤沢市民会館 小ホール

第1部 式典
藤沢スポーツ賞表彰式
この1年間に活躍した選手・団体を表彰

第2部 講演会
「スポーツ選手のメンタルマネジメント」
女子柔道 榎崎教子氏



プロフィール
国立大学法人福岡教育大学保健体育講座 准教授
日本大学藤沢高等学校出身
広島アジア大会 女子56kg級 銀メダル
アトランタオリンピック 女子52kg級 銅メダル
バーミンガム世界選手権 女子52kg級 優勝
シドニーオリンピック 女子52kg級 銀メダル